

ご あ い さ つ

高知女子大学看護学会会長

山 崎 美恵子

21世紀もスタートし、看護学会員の皆様方も新たな目標にむけてご活躍のことと存じます。

2000年7月29日に開催されました第26回総会において、この度高知女子大学看護学会長を山崎智子先生より引き継ぐことになりました。

初代会長和井兼尾先生から二代目山崎智子先生に引き継がれた高知女子大学看護学会は26年の歩みとともに発展してまいりました。2001年という区切りの年に学会長としてその責任をはたしていけるだろうかと不安がいっぱいではありますが、お引き受けしたうえには皆様方のお力をおかりしながら微力ではありますが頑張りたいとおもっておりますので、よろしくお願い申し上げます。

高知女子大学看護学会会則第3条に「この学会は看護学の進歩発展と会員相互の研鑽・親睦をはかり、もって看護の向上に資することを目的とする」となっています。その目的にそって学会運営の見直しや改善をこれまでも続けてまいりましたがその成果が年々前向きにあらわれてまいりました。その一つに学会員による研究発表の質の向上、また「高知女子大学看護学会集録」を発展的に解消し平成10年6月に「高知女子大学看護学会誌第23巻第1号」の発行、奨学金制度をもうけたことなどがあげられます。

27年前に永国寺校舎の203教室で発足した、この学会が今日まで発展しながら受け継がれてきたことは高知女子大学看護学部として高く評価できるのではないかと思います。

現在、社会ニーズの変化、保健医療福祉の改革が行われ、看護をとりまく環境は大きく変化しています。21世紀におけるヘルスケアの課題は複雑になってきました。このような状況を解決するために看護実践の向上、看護学発展のための研究に取り組み、その成果を看護サービスや教育の改善に活用していかなければならないと考えます。

高知女子大学家政学部看護学科生として入学した学生（47期生）は2001年3月をもって終わり、家政学部看護学科の卒業生は総数997名となりました。2001年4月からの在學生は高知女子大学看護学部看護学科生として入学した学生（1～4回生まで）175名、編入生9名、大学院看護学研究科修士課程21名、健康生活科学研究科博士後期課程看護学領域（2001年4月開設）4名が池キャンパスで学んでいます。学位からみれば学士「看護学」・修士「看護学」・博士「看護学」が取得できる教育課程ができました。

このような状況の中にあって、高知女子大学看護学会の果たしていく役割と責任は大きいと思います。これからも皆様のご協力を得ながら学会を充実していきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

この度、投稿者のご協力により、貴重な研究成果が高知女子大学看護学会誌に掲載できましたことを感謝申し上げます。